

事業番号	05 06 11	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	心身障害発生予防事業			担当課	部局	健康福祉部	
					課・局・室	保健・疾病対策課	
総合5か年計画	プロジェクト				E-mail	boshi-shika@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7－2 子育て先進県の実現		実施期間	S54 ～		
		3 子育て支援体制の充実					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	2－2若者のライフデザインの希望実現					
	施策展開	1－（1）結婚・出産・子育てへの支援 イ 出産・子育ての安心向上					

1 事業の概要

目指す姿	治療法が確立されている先天性疾患を早期に発見し、心身障害の発生や死亡を防ぎ、子どもの健康の保持増進が図られる。 心身の発育・発達に異常等が発見された子どもや子育て不安のある妊産婦に対する支援を行い、子どもの健やかな成長が図られる。					
現状（予算編成時）	・先天性代謝異常等検査事業により発見された児の早期治療及び保健所や市町村等でのフォローアップを行っている。 ・ハイリスク母子保健対策事業として、育児不安のある母親や発育・発達異常の疑いのある乳幼児への個別または集団支援を行っている。 ・難聴児支援センター事業として、難聴児の相談や療育、ろう学校等の関係機関との連携による地域支援を行っている。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）		【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施：実施は困難		障害者基本法第31条 児童福祉法第19条 児童虐待防止法第4条 母子保健法第9条、19条			
成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	・先天性代謝異常等検査事業により発見された児のフォローアップ ・母の心の相談件数116件以上（H26年度実績より） ・難聴児支援センターにおける関係機関との連絡支援件数 526件（H26年度実績より）					
	② 事業内容（単位：千円）					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29
				（当初）	（決算）	（当初）
	先天性代謝異常等検査事業	委託直接	先天性代謝異常疾患の検査と発見された児のフォローアップ、マス・スクリーニング連絡協議会の開催（1回） 委託先：県立こども病院	59,257	54,090	57,731
ハイリスク母子保健対策事業	直接	育児不安のある母親や発育・発達に関する支援が必要な児等への個別または集団支援	1,555	608	1,407	
難聴児支援センター事業	委託直接	難聴児の相談や療育、ろう学校等との連携による地域支援 委託先：信州大学医学部附属病院	1,673	1,449	1,555	
		合計	62,485	56,147	60,693	

事業コスト	区 分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	62,561	62,485	60,693				目標	成果	達成状況	
		補正予算				先天性代謝異常等疾患児のフォローアップ	100%	100%	100%	100%	達成	100%
		合計(A)	62,561	62,485	60,693	母の心の相談件数	116件	82	増加	81	未達成	増加
	Aの財源	一般財源	62,561	62,485	60,060	難聴児支援センター関係機関連絡支援件数	526件	603	540	620	達成	583
		県 債										
		国庫支出金			633							
		その他	0	0	0							
	決 算 額(B)		58,972	56,147								
	概 算 人件費	職員数(人)	0.50	0.50	0.50							
		概算人件費 (C)	4,138	3,957	3,957							
概算事業費(B(A)+C)		63,110	60,104	64,650								

目標に対する成果の状況	母子保健事業の相談件数の減少は、支援体制のある市町村が増加し、市町村の同様の事業に参加したことによるものと考えられる。 先天性代謝異常等疾患児のフォローアップ、難聴児支援センター関係機関連絡支援件数は、関係者に事業の周知が進んだため目標を達成した。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施  ハイリスク母子保健事業の相談件数の減少は、支援体制のある市町村が増加し、市町村の同様の事業に参加したことによるものと考えられ、事業の廃止について検討する。体制が未整備の町村については、信州母子保健推進センターが助言、支援を行う。
--------------------	---